



活動費の一部として
富士宮市より
助成金をいただいて
活動しています

特定非営利活動法人 富士宮市手をつなぐ育成会 会報誌

発行日 令和6年4月18日

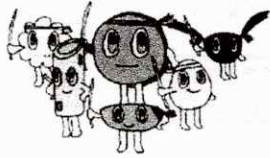
育成会だより

2024年4月号



NPO法人本部
〒418-0022 富士宮市小泉 2530-2
TEL (0544) 22-0502
FAX (0544) 22-0502
E-mail ikuseikai-f@rx.tnc.ne.jp
<https://www.fujinomiya-ikuseikai.com>
理事長 高橋 房恵

活動報告



啓発キャラバン隊 しずおか♡おでんジャー公演

令和6年2月4日(日) 福祉会館 第1第2会議室

担当:根北・大富士地区

令和5年度の講演会は、静岡市静岡手をつなぐ育成会の啓発キャラバン隊「しずおか♡おでんジャー」の皆さんによる公演をおこないました。

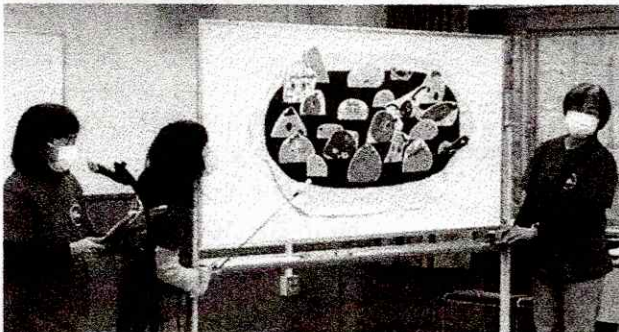
当日は、会員・職員合わせて42名(うち本人14名)、非会員4名の計46名の参加がありました。親子での参加も多く、小さいお子さまから、ご本人さんの参加もみられました。どの方にもわかりやすい内容で、ワークショップも織り混ぜながら、楽しく講演をしてくださいました。

障がいのある方への接し方、街で見かけたときの対応等、はっとさせられる内容で、家族でも改めて考えられる良いきっかけになりました。

1人でも多くの人々に、特性のある方たちのことを、もっと身近に感じて、知ってもらえたら嬉しいなと、改めて感じる講演会でした。(報告者 近藤 早耶香)



←軍手をはめて、シール貼り！急かされるとイライラしちゃう〜 そうか、この感じ！
↓おでんには、出し粉(理解)と青のり(支援)が必要だね〜



富士宮の皆さん、お招きいただきありがとうございます！私達もほんの5-6年前まではキャラバン隊のこと知らなかったんです！富士宮でもキャラバン隊ができるといいですね。「やきそばマン」とかどうかな？ 待ってまーす！

キャラバン隊って？

平成 15 年に、神奈川県座間市で立ち上がったのが始まりです。ある小学校で、支援学級の自閉症の子の行動をバカにする同級生がいて、ダウン症のきょうだいがいる男の子が見かねて何とか説明しようとしたけれど、できずに悔しい思いをした…どうしたら伝わる？ お母さんが親の会に持ちかけて、結成されたのがキャラバン隊です。今ではその活動が全国に広がって、県内にも 4 団体があります。

「しずおか♡おでんジャー」は平成 29 年に発足、静岡市内の小学校や地域福祉の集まりなどで啓発活動をしています。令和 4 年度には差別解消取組知事褒章も受賞されています。



今回は、会員の皆様に「啓発キャラバン隊の活動を知っていただく」という大きな目的がひとつ。一方で、地域の若いお母さんお父さんにキャラバン隊を通じて「障がいのあるわが子を理解し、どう育てるか」を感じ取っていただけたらいいな、という思いもあって進めてきました。感染症シーズンの只中であり、後者はなかなか難しいものがありました。機会があればぜひ見ていただきたい内容でした。

<プログラム>

疑似体験「軍手をはめてシールを貼ってみよう」
寸劇動画「街で見かけたこんな場面～こんなことあるよね?!」
疑似体験「絵を描いてみよう!!」
動画 Amazing things happen!
障がい特性と接し方について
親の思い
朗読「ぼくたちの世界」
おわりの挨拶 ～One Love～

参加された皆さんから…

職員として働いています。娘と参加させていただきました。障がいの有無に関係なく、子育てでの子どもへの声かけでハッとさせられる発言を自分もしているなと思いました。まだまだ障害について世の中の人々の理解は少ないと思うので、こういう機会に子どものころから参加する意味はあるのかなと思いました。



きょうだい児の息子にもわかりやすく、楽しく学べて良いきっかけになりました。一人でも多くの人々に特性のある子たちのことを知ってもらえたら嬉しいなと思いました。



療育施設に勤務して1年になりますが、改めて自分は何もわかっていないのかもしれないと思いました。自分ができることを誰もが簡単にできるわけではない。わかっていてもついつい忘れてしまっている。助けてあげるとかではなくて、「うまく伝え合える自分になりたい」と思いました。笑顔を忘れずに。

日々同じ思いを抱きながら暮らしている…共感の1時間半でした。これからの生活の知恵として役立たせていただきたいと思います。ありがとうございました。

声かけや見守り方、お一人お一人を尊重する姿勢を改めて見直そうと思いました。“同じ目線に立って具体的な声かけ”で子供にも、支援させていただいている方達にも接していこうと思います。

疑似体験の軍手でのシール貼りは、うまくできない中で急かされるといふ子どもの気持ちがよくわかりました。声掛けについても、ついつい言うってしまう抽象的な言葉がけが、こんなにもわかりにくいものだと気づきました。声掛けの仕方も勉強になりました。参加して良かったです。



-内容-

- ・疑似体験
- ・特性説明
- ・寸劇
- ・詩の朗読

知的・発達障害の理解啓発活動をしています



障害の子供を持つ親として、よく理解できました。もっと早く、いろいろなことがわかるといいと思います。頑張って公演をやってください。

静岡県手をつなぐ育成会 第2回 児童部会

2月21日 オンライン参加

今回の児童部会には、東部健康福祉センター技監の古谷みゆきさんがいらっしゃいました。「障がい児の歯科診療の状況について」がメインで、県内各地域の状況や子どもの診療時の様子を話していきました。

各市町の児童委員からは、

- ・授業の一環で歯科衛生士が来る・協力医一覧表が配布されている
- ・障がい者を診てくれる病院が少なく集中してしまい、緊急を要するくらいでないと受け入れてもらえない(三島→神奈川県まで行き受診した人もいる)
- ・中東遠総合医療センター(掛川・袋井)が障がい者歯科診療を閉鎖すると言われたので、12月に各育成会で継続の要望を出した。

といった報告や、個々の体験談として、

- ・12歳だがまだ乳歯が残っている。自然抜歯が難しいようなので、かかりつけ医で経過観察中。抜歯の時はロコミ等で対応可能な歯科医の情報を集めないといけない。
- ・どこの歯科医にかかれば良いかわからず、学校歯科医の病院に通院する事にした。場所見知りもあるので何回も通い、駐車場→待合室→診察室で座る→受診(個室で対応してくれた)と少しずつ進めた。
- ・ロコミが良いと聞いて通った歯科医で治療ができず、こども病院に通っている。
- ・感覚過敏があり、羽交い締めにしても大暴れしてしまった。

など、皆さんとても切実でした。これらの話を踏まえて、古谷さんから

「低年齢から歯の検診ができると、後がスムーズになる可能性が高い。乳児のうちから口の中を触られること(歯をガーゼで拭いたり、仕上げ磨きをすることなど)に慣れさせることを勧めたい。」とお話がありました。うちの子の場合はまさにその通り。幸い感覚過敏もなく、検診や歯磨きが大好きで、困らず、虫歯になることもなく高2の今まで過ごせています。



サポートファイルの
歯科医療サポート
ページも活用しよう!

「フッ化物を利用していれば虫歯にならない」わけではありませんが、**歯科医院で検診を受け、フッ化物塗布をしてもらうこと**で、

☆かかりつけ医をつくる良いチャンスです☆

と富士宮市のチラシに書いてありました。奥で磨きにくい6歳臼歯は虫歯になりやすいので、歯科でシーラント処置をしてもらい溝を埋めてもらうのも1つの方法だそうです。

また、大人になると歯茎が痩せてしまったり、唾液の分泌が減ったりして歯の根元が虫歯になりやすいとのこと。よく耳にする「歯周病」の問題も大人からではなく、なんと中学生から出てくるそうです!気をつけたいですね。子どもたちの歯だけでなく、自分の歯もしっかり守っていかなければと改めて感じました。

(児童委員 田崎 千恵)

大人のためのむし歯予防

① フッ化物入り歯みがき剤で

歯みがきをしましょう!

- ・1450ppmなど、1000ppm以上の高濃度フッ化物配合歯みがき剤がおすすめ
- ・1日2回以上みがきましょう
- ・1回の使用量は1~2cm、歯ブラシ全体
- ・3分間みがきましょう
- ・うがいは少量の水で1回だけにしましょう
⇒しっかりうがいしたい人は2回みがき! 2回目のうがいを少量で1回に

② フッ化物洗口も行いましょう

夜寝る前に1日1回30秒

③ 歯科医でフッ化物を塗って

もらいましょう!

定期的な歯科検診・清掃

+年2回程度フッ化物塗布



新旧引き継ぎ役員会

令和6年3月23日(土)福祉会館 大広間

年度末恒例の新旧引き継ぎ役員会を開催しました。地区長さん、相談員さん、新旧の地区役員さんにご参加いただきました。

【令和6年度 地区長・地区役員】

地区名	地区長	地区役員		
一中地区	伊藤 あつ子さん	小野田 佳子さん	吉澤 奈穂子さん	
二中地区	清 里江さん	伊藤 玲子さん	松島 厚子さん	
三中地区	望月 敦子さん	佐野 絵美さん	辻村 岳瑠さん	
四中地区	立古 めぐみさん	松尾 敦子さん	立古 めぐみさん	
富士根南地区	宮田 明美さん	金澤 祥子さん	稲葉 恵さん	清 広美
根北・大富士地区	松永 貴伸さん 芹澤 信行さん	遠藤 一美さん	窪田 由美子さん	笹原 直美さん
北部地区	前田 三千枝さん	赤池 さかえさん	大塚 秀子さん	堀内 亜希さん

役員さんお疲れさまでした！

一中地区 米山さん、遠藤さん 二中地区 佐野美保さん 三中地区 望月敦子さん 根南地区 中川さん
根北大富士地区 近藤さんは令和5年度で任期終了となりました。ご尽力ありがとうございました<(_)_>

【令和6年度 担当行事案】

地区	行事	開催予定	地区	行事	開催予定
一中	バザー代替企画	未定	根南	20歳を祝う集い	1月11日
二中	社会人の会	7~9月	根北・大富士	講演会	2月
三中	親子レクリエーション	10・11月	北部	クリスマス会	12月
四中	児童の会	7~9月			

- 具体的な行事の内容等の計画は、地区のアイデアを役員会で協議し決定して進めていきます。
- 開催予定月は目安です。全体の計画や会場の都合で見直す場合もあります。
- 施設見学は引き続き本部で担当します。
- 担当行事のあり方について見直していく予定です。令和6年度以降どのような活動のあり方がよいか役員さんにアンケートを実施しています。

相談員の活動

昨年5月の新型コロナウイルス「5類感染症」移行から、相談員活動も日常に戻ってきた感じになりました。企業訪問や施設情報調査も再開しました。コロナ流行と同時に就任した私にとっては初めてのことでしたが、直接会えることが当たり前になってきて良かったと感じています。

この3月には、高等部卒業生の就労へ向けた移行支援計画を話し合う「移行支援会議」に参加しました。卒業生本校15名・分校11名に今年も担当地区相談員の紹介も兼ねたPRカードを配布しました。

4月11日の合同定例会では、支援学校本校望月先生より、進路決定に向けて、学校と本人だけでなく、保護者の協力で一緒に取り組むことが大事、というお話でした。早いうちから親子で事業所見学できるといいですね。

今年度は二中地区相談員が交代となりました。何かありましたら、まずは地区の相談員にどうぞ気軽に話しかけていただけたらと思います。

(令和6年度 相談員代表 平井 博美)

【令和6年度 富士宮市知的障害者相談員】

一中地区 いなば ひとし 稲葉 仁さん	芝川地区 さの あきら 佐野 朗さん	根北・大富士地区 かとう しの 加藤 志乃さん
二中地区 あかいけ ひろゆき 赤池 洋之さん 新任	四中地区 ふじの やちよ 藤野 八千代さん	北部地区 たむら ひろみ 田村 博美さん
三中地区 えんどう ななこ 遠藤 那々子さん	富士根南地区 令和6年度代表 ひらい ひろみ 平井 博美さん	育成会が推薦し、富士宮市から委嘱された方々です。当会の会員で、信頼できる皆さんです。

これまで相談員を務めてくださった 太田 正美さん（二中地区）は退任となります。

長い間本当にありがとうございました！

富士旭出学園 富士清心園 竣工！ 内覧会

富士清心園の建て替え工事が完了し、内覧会のご案内がありましたので、本部と相談員さん有志でうかがいました。

ゆったり広々作られた富士厚生園に対して、こちらは適度にコンパクト。居室は広めで、感染症対策のためのゾーニングの徹底、掃き出し窓採用（ロック機能はしっかりしています）でベランダから全居室へのアプローチが可能、など万全の設計です。静岡県産の木材を壁材として使用するなど、落ち着いた雰囲気とほのかに香る木の香が癒しとなっています。



4月3週の週末に向け、旧舎からのお引越しがされるということで、落ち着いたら皆さんの暮らしぶりも含めて育成会でも見学させていただこうと思います。

後日改めてご案内させていただきますので、楽しみに！

地域の福祉

富士圏域自立支援協議会 第2回 発達支援部会

2月4日 富士総合庁舎

富士・富士宮市役所、社会福祉協議会、富士特別支援学校など11名が参加し、令和5年度の実施状況について説明がありました。5年度は、「不登校・行き渋り」「切れ目のない支援」について、他職域との連携や協働に視点を当てた支援報告会が開催されています。進学や就労など、所属先が変わることによる支援の途切れへの対策について、圏域内で事例を共有し、連携強化に向けて今後も討議を重ねていく、とのことでした。

また前年に引き続き5年度は、強度行動障害支援者養成研修修了者向けのフォローアップを開催し、スキルアップと支援者のネットワーク強化が図られています。6年度へ引き継がれます。

各関係機関からは ◎家族ごと丸ごとフォローが散見される ◎手帳の申請が増えているが、当てはまらない人も多くなっている ◎富士市内では児童発達支援事業所が増えている などといった報告がありました。

今後も地域の現状と課題を共有し、圏域の障害児支援の底上げにつながるよう、課題検討していきます。

強度行動障害

周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が高い頻度で起き 特別な支援を必要としている状態



(報告者 米山 かおり)

富士宮市 避難行動要支援者支援専門委員会

3月20日 富士宮市役所

昨年10月郵便発送、12月末を締め切りとして行われた「避難行動要支援者名簿登録」について取りまとめ状況が市から公表されました。14,443人を対象に郵便を送付し、返信は6,092通、そのうち同意・登録は5,000人程度となる見込み、ということです。

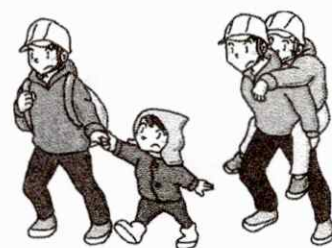
「本当に支援が必要な人が登録しているのか?」「この制度は十分に理解されているのか?」と、登録者の分析と共に、ここまででも検証の必要性を大いに感じるのですが、今年度はさらにこの先へと進んでいきます。

まず、6月に新しい要支援者名簿が発行されます。これは市内各区自治防災会・民生委員さんへ提供されるものです。以後毎年このサイクルで名簿は更新されるそうです。この名簿に基づいて、平時からの見守りや個別避難計画の作成が行われます。また、災害発生時は名簿登録・同意に関係なく、要支援者とされるすべての方のお名前が公開され安否確認がされることとなります。

6年度は市内で100件分の「個別避難計画」作成の予算がとられているそうです。介護保険ではケアマネージャーさん、障害福祉サービスでは相談支援専門員さんが作成するものです。これは、ハザードマップや要支援者の孤立の度合いなど、国の定めた優先順位に基づいて実施されていくようです。一方で、今後この「個別避難計画」についてはセルフプラン作成も予定されています。

福祉サービスと「利用者さんの地域」という、これまで接点のなかったところの繋がり…一筋縄ではいかない難しさがあります。本格的な実施の前に再度委員会が召集されるようですので、先行きをしっかり見ていきたいと思えます。

(報告者 清 広美)



ありがとう！じゃんぷ ～じゃんぷお別れ会～

じゃんぷ年表

平成 21 年 4 月	障害児日中一時支援事業所として開所（現ふれあい食堂）
平成 22 年 4 月	児童デイサービスとなる（現じゃんぷに引越し）
平成 24 年 4 月	放課後等デイサービスの制度スタート 放デイとなる
令和 4 年 4 月	明日の風ふれあい(B型)と多機能型になる
令和 6 年 3 月	15年の歴史に幕

じゃんぷは、平成21年4月に 障害児放課後クラブ「じゃんぷ」として開所しました。当時は、放課後や学校の長期休みに障害を持った子供を預けられる所が少なく、核家族には働きながら障害児を育てることは難しい時代でした。そんな中、「ひとり親でも働きたい」という育成会会員の切なる思いを耳にした高橋理事長が、意を決して立ち上げたのが「じゃんぷ」です。

毎日多くの子供たちが利用し、学校とは違う生活の場としてのびのびと楽しく過ごしてきました。年齢の違う子供たちが共に遊び、共に学び、さまざまな活動を通して関わり合う中で、社会性や自立心も育まれたことでしょう。子供の健やかな成長を支援してくれる場として、親も安心して預けることができ、働く時間や休息の時間を得ることができるようになりました。

3月30日（土）、放課後等デイサービス「じゃんぷ」お別れの会が開かれました。当日はじゃんぷを利用していた子供たち、卒業生、保護者が招かれました。じゃんぷの室内には思い出の写真が至る所に飾られ、まだあどけなかった子供たちの懐かしい姿に保護者は目を細めました。

職員の方々からお別れのあいさつがあり、子供たちと過ごした日々を振り返って涙ながらに「ありがとう」と伝えて下さる姿には胸が熱くなりました。長年じゃんぷに関わってきた熊谷さんからは「子供たちから学ぶことがたくさんあった。みんなのおかげで自分も成長できた」と、長い時間を共にした子供たちに感謝の言葉が贈られました。

その後は、にぎやかにビンゴゲームを楽しみました。子供たちが交代でガラガラを回し、出てきた数字を読み上げると、その結果に「ある!」「ない!」と元気な声が湧き上がりました。

ゲームの終わりに、10年間じゃんぷを利用させてもらった息子から職員さんに向けてメッセージを読ませていただきました。誕生会で祝ってもらったこと、こどもの国や市民プールに連れていってもらった思い出にふれ、じゃんぷがなくなることは本当にさびしいと伝えました。

最後に高橋理事長が、じゃんぷのこれまでの歴史を感慨深く語り、それぞれの新しい門出にはなむけの言葉を贈ってお別れの会を締めくくりました。じゃんぷは15年の歴史に幕を閉じてしまいましたが、子供たちの胸にはじゃんぷの思い出が深く刻まれていることでしょう。保護者としても感謝の気持ちは忘れません。じゃんぷに関わった皆さま、本当にありがとうございました。

（報告者 加藤 志乃）



❀❀ これからの予定 ❀❀

日時	内容	場所
4月27日(土) 19:00~	第1回 役員会	福祉会館 第1第2会議室
5月11日(土) 13:30~	北部地区 地区会	上野会館 2階 中会議室
5月18日(土) 19:00~	第2回 理事会	福祉会館 第1第2会議室
6月2日(日)10:00~ 案内同封 前回お知らせの5/25 (土)から日程変更です	第18回 通常総会 総会ならびに表彰・行政説明	福祉会館 安藤記念ホール
6月2日(日) 13:00~	第1回 理事会	福祉会館 第1第2会議室
6月15日(土) 19:00~	根北・大富士地区 地区会	福祉会館 第1第2会議室
6月21日(金) 10:00~	サポートファイル書き込み会	福祉会館 第3会議室
6月22日(土) 午後	第65回 静岡県手をつなぐ育成会大会	静岡シズウェル 703 会議室
6月29日(土) 19:00~	第2回 役員会	福祉会館 第1第2会議室
7月13日(土) 10:00~	二中地区 地区会	福祉会館 創作室
7月18日(木) 10:00~	この指とまれ 予定	福祉会館 創作室

インクルふじ 20周年記念 映画上映会
6月14日(金)・15日(土)

ロゼシアター 小ホール

普通に生きる～自立をめざして～(2011年)

普通に死ぬ～いのちの自立～(2020年)

ドキュメンタリー映画「普通に死ぬ」がインクルふじ20周年で再上映されます。今回は前作「普通に生きる」も15日限定で上映されます。「でら～と」「らぼ～と」という地域の身近な施設と人々が登場するドキュメンタリー。当会会員さんや陽だまりの家も登場します。

入場無料・事前申込が必要です。

⇒詳しくは案内同封をご覧ください

ありがとうございました



◎元旦の能登半島地震への義援金を

集めさせていただきました。募金計 33,586 円でした。また、会費から1世帯当たり100円を加え、合計 50,586 円を県育成会・全育連を通じて被災地へお送りしています。

ご協力ありがとうございました!

◎富士宮市手をつなぐ育成会では、毎年小学校

新入学に合わせて黄色い帽子とブザーを贈る「明るい社会づくり運動」に協賛しています。支援学級のお子さんの安全を願っています。

編集後記 この春 新生活をお迎えの皆さん、

おめでとうございます。慣れてきましたか? 我が家は、東京の長男、そして分校から三男が卒業…ドキドキの新生活がスタートしました。張り切って事業所に通う息子の姿は嬉しいものです。がんばれ～♪

3月の分校の卒業式はなかなか感動的でした。先生方は愛あふれ、障がいのある子を育ててきたことへの労いのお言葉をいただいて、うるっと来てしまいました。息子からもらった手紙のラストは「結婚しても手伝ってください」ですって?? えええ?? うろたえてしまう🍀 これからも元気に過ごせますよう…(清)



富士宮市手をつなぐ育成会
LINE 公式アカウント

行事等の応募や本部への
連絡にも便利です!



富士宮市手をつなぐ育成会
ホームページ

育成会行事、ここにサポート
いずみ、明日の風の情報も!

発行 特定非営利活動法人 富士宮市手をつなぐ育成会

〒418-0022 富士宮市小泉 2530-2

TEL 0544-22-0502

編集 清 広美 加藤 志乃 米山 かおり

ご投稿・ご意見等、大歓迎です! お待ちしています。